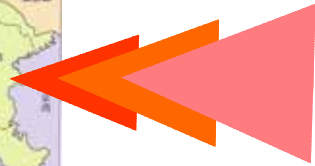
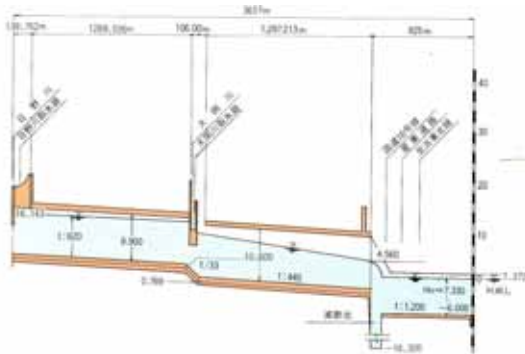


大岡川分水路の効果について



大岡川上流域では、昭和30年代を中心に大規模開発が行われ、流出量の増大で、しばしば溢水氾濫を起こしました。



単位：メートル

事業効果(イメージ)



このため神奈川県と横浜市では、協力して大岡川分水路を建設しました。横浜市港南区日野から根岸湾までのトンネル及び開水路(総延長約3.64km)は昭和56年に完成し、台風等による被害を防いでおります。